

## AJ 西東京 BRM 富士 300 試走記

連休を利用して、5月4日から5日にかけて、富士300を走りました。GWさなかの好天日、しかも、直前に世界遺産への選定が決まったとあって、富士山周辺は大変混雑していましたが、逆に、想定される最悪の交通事情を踏まえた試走となったので、よかったのかもしれませんが。

まずは、記録から。

午後 10 時 00 分	スタート	町田市根岸、淡島神社裏
午前 00 時 10 分	通過チェック	「片瀬江の島駅入口」S @ 38.6km
午前 01 時 52 分	PC1	セブンイレブン小田原寿町3丁目店 @73.1km (クローズまで1時間)
午前 07 時 20 分	PC2	サークルK芝川町役場前店 @167.3km (クローズまで1時間48分)
午後 00 時 37 分	PC3	セブンイレブン都留井倉店 @237.8km (クローズまで1時間15分)
午後 17 時 12 分	ゴール	マクドナルド桜美林学園前店 (試走のみ、クローズまで48分)

所要時間：19時間12分 うち、走行時間、約15時間、平均速度20.3kmh

つづいて、コメントです。

### スタート前

前日夜に秋葉街道、しらびそ峠から帰還したところだったが、翌日は朝からゆっくりしたうえ、夕方に仮眠までとったせいか、いままでのどのブルベよりすっきりとした気分で、スタート・ラインに立つ。実は、この先もゴールまで、眠気に襲われることはなかった。好天、試走仲間が存在などの助けも大きいですが、練習不足の身ながら、完走できた最大の理由は、十分な休養にあったと思う。

### スタート～PC1



午後10時、ケルビム前に集合。AJ西東京メンバーの見送りを受けて、総勢5名でスタート。思ったより空気が冷たく、江の島までは薄手のウィンド・ベストを羽織って走る。この区間、昼間の交通量は相当なものだが、さすがに夜ともなればクルマ通りも少ない。しかし、信号が多いので、ストップ&

ゴーの繰り返し。飛ばしたところで得るものは少ない。長い道のりを前に、アップのつもりで走るのがいいだろう。江の島、**10「神戸橋」S**で江ノ電を横切る。ここは転倒多発スポット。特に雨天時は注意が必要だ。線路を斜めに横切らないこと、レールの上でブレーキをかけないこと。それでも怖ければ、自転車から降りる。まさに、注意一秒だ。**11「腰越橋」S**を右折すれば、**12クイズ・ポイント**はすぐだ。

海岸線を走る **R134**、心持ちながら、風の冷たさも緩む。ここからは信号にかかることがずっと少なくなる。先頭を走る **W** さんのペースもいい。1キロごとに「貯金」が増えていくのを楽しみに、脚を回していく。深更、2時前に **PC1** 到着。

### **PC1～PC2**

未明の御殿場越えに備えて、アツアツのかきたまスープとおにぎり 2 つで心身ともにほっかほか。PC を後に、寝静まった街中を抜け、山北へ向かう。**22「岸入口」S**で **R246** 旧道 (K76) に入るまでは、少し道が入り組んでいるので、事前の地図、ルートラボでの予習が必須だ。それでも、暗い中、交差点名や目印を見落とさないように気を使う。「岸入口」S から **R246** の歩道を行くと。すぐに短いトンネルを向け、**24「安戸」S** へ。この交差点やその先「**新鞆子橋」S (感応式)** では、旧道が新道 **R246** にタッチしてすぐに右に離れる感じ。**25「谷峨駅入口」S** までの区間、かつては **R246** だったとは思えない真っ暗な道。しかも、道端にはこちらのライトを受けて何対もの眼玉が怪しく光るばかりでなく、パニックした小動物クンが飛び出してくることも！ 単独だったり、先頭を行ったりする場合は注意が必要だ。「谷峨駅入口」S から「**清水橋」S** さらにはその先のトンネル手前までは、左側に歩道があるところはそちらに行くのが安全。特に、トンネル手前は本線にポールが立っており、道幅が限られるので後方から大型車が迫ってくると冷汗モノだ。

道路標識を頼りに **25「生土」S** で旧道に復帰。ほっとする。ここから、何段かに分かれた約 **12** キロの道のりで、黎明のなかに姿を現した富士山の裾野を上っていく。御殿場駅のすぐ先、仏壇屋の角がピーク、ここでウィンド・ブレーカを着こんで、いよいよ下りへ。見通し、路面良好、交通量少なし。沼津市街に入るまでの **20** キロ強は“ボーナス”区間だ。いつの間にか夜もすっかり明け、クルマも通り出て来た。**30「杉崎町」S** を左折したら、JR ガードの手前から、**31「三園橋」S** までは左の自転車レーンに入るのがいい。S 字状のガード下は車 **1** 台がぎりぎりの幅しかないからだ。そのまま、「三園橋」S は直進して、2 段階右折する。先に右に横断すると、反対側に渡れない。旧東海道をひたすら富士川に向かうが、この道は名実ともに長い。いい加減イヤになったところに富士川橋の薄緑の橋梁が見えた。**6 時 50 分**。今ライド最大の難関、朝霧高原の上りに向けて、1 時間の貯金は欲しいところ、このまま行けば、7 時半前には **PC2** (クローズ **9 時 08 分**) に着けそうだ。

### **PC2～PC3**

親子丼と炭酸水 (ブルベ二日目の定番。ガスが委縮した胃を刺激してくれるので食欲不振に効く) で英気を養っていたら、駐車場に滑り込んできた車の窓から特大ズームレンズがこちらを狙っている！ すわ、パパラッチ…なんて訳ないな。なんと、本番でもいつも参加者の素敵なシーンをスナップしてくれている **S** さんが激励に来てくれた。朝霧への道で走行シーンを撮影してくれるという。ここからの長い上り、途中で気持ちが折れそうになるところだから、心強い援軍だ。そうこうするうちに、**W** さん、**I** さんとも合流、しばし談笑の後、いよいよ **32** キロ、標高差 **1050** メートルの上りにかかる。



この道、一見のどかだが、富士方面への抜け道らしく、結構車通りがある。とはいえ、ところどころで富士山が顔を出してくれるから、悪い気はしない。蓮華、菜の花など、遅い春の景色も目を休ませてくれる。難所だが、このブルベのハイライトでもあるから、ゆっくり楽しむのが得策だ。

**39「上井出」S**の先、約3キロ左手にある、富士ミルクランド (@185.6km、9時から営業)は格好の休憩スポット。ここが標高差でいうと上りのちょうど中間点、この先、**40「信号なし」T字路**(人穴)を右折してからは勾配が徐々に増す。家族連れの観光客のにぎわいを妙に懐かしく思いつつ、パティオでソフトクリーム、ジェラートをいただく。



ミルクランドから朝霧高原のピークまでは13キロ、520メートルの上り。激坂はないが長い。時間が経つに連れ、増えてきた車に気をつけながらクランクを回す。ハイペースはだめ、マイペースのみ。JAストア前Sからはあと4キロ、朝日が昇るにつれ、樹海の森の木漏れ陽となり、鳥の声が耳を楽しませてくれる。気分をあれこれ紛らわせつつ、大室山乗越しの展望台に滑り込む。天気良ければ、本栖湖、南アルプスの眺望が一服の清涼剤になる。

樹海を下れば、あっという間にR139に突当る(**41「ひばりが丘」S**)。ここからの国道は、交通量が多く、路面も荒れた酷道。特に大田和S(@206km)から先の2車線下り区間、および、**42「富士見バイパス南」S**から**43「都留文科大入口」S**までの富士みち下りは車もスピードが出ているので注意が必要。未完通の都留バイパスに入ると、正直ほっとした。PCまではあと少し。途中の渋滞もあり、思ったほど時間は稼げなかったが、1時間強の余裕でPC3にたどり着くことができたのは上々の出来かな。



### PC3～ゴール

マイ定番、「吉田の肉うどん」(398円)とコーラでお腹とのどを満たしていたら、再度、Wさん、Iさんと合流。残り70キロたらず、しかも、走り慣れた道。さあ！とばかりに出発したら、忘れ物。そろそろ、疲れているのかな。気をつけよう。



新雛鶴トンネルへの上りはリニア駅脇が一番きつい。この先のヘアピンを抜ければ、トンネル入口はすぐだ。ここからゴールまでは、基本的に、つまり、例外はあるけど、下り基調。気分的に楽になる。



上の写真は、K76 から R413 道志みちへの分かれ道、**50 変則Y字路**とその先県国道の上り区間をショートカットしてくれるルートが、疲れた脚にありがたい。

道志みちに入ると、連休の交通量がすごい。さすがに、本番はそんなことはないと思いますが、コンビニに向かって道を渡るのに苦労したり、トイレに列ができた。いずれにしても、気をつけて、ゴールを目指すに越したことはない。**52「青山」S**からの R412 の上り、**53「串川橋」S**と**54「宮原」S**の間の乗越しも、これまでのヒルクラに比べたら大したことはないが、馬力切れのエンジンではゆっくりしか進まない。ここは辛抱、しんぼう…終わらない坂はないよ、とわが馬脚に言い聞かせながら行く。新小倉橋を越えれば、いよいよ関東平野の端っこに載った！あとは、ときどき浮かんでは消える、ゴールでなにを食べようかという妄想にニヤツキながら、淡々と轍を進める。

マックでおやつを仕込んで、ケルビムに向かうと見なれた自転車が2台、停めてある。おおっ、なんと、AJ 西東京会長 ID さん、それに、スタートも見送ってくださった E さんのお出迎え！自分の文を食べたうえ、お二人の晩ごはんまで平らげるうちに、W さん、I さんも無事ゴール。メカ不調に泣かされた N さんは PC3 で無念のリタイアだったが、その後、輪行で帰られたとのこと。全員の無事を祝って、長い 20 時間、304 キロの旅が終わりました。

## 追伸

眠気なしに走り切ったブルベでしたが、帰り道が暗くなるにつれ、猛烈な眠気に襲われ、ついにコンビニで仮眠。まさに、「無事にうちに帰るまでがブルベ」でした。皆さんもぜひ、ゴール後はくれぐれも気をつけてお帰りください。